

# 「歯・口の健康を通して自己管理能力を育む取り組み」

～生徒会衛生委員会やPTAとの連携を通して～

福岡市立北崎中学校

## 1、はじめに

本校は生徒数56名、3クラスの小規模校である。福岡市の北西部に位置し、半農半漁の地域である。三世代で生活している家庭が多く食生活は充実している。校区にコンビニやファーストフードの店がない。平成19年度まで校区内に歯科医院がなかったため保護者・生徒ともに歯・口に対する関心が薄い。“自分の健康は自分で守る”という自己管理能力を育むために、衛生委員会を中心とした取り組み、家庭や地域と連携した食育の推進、小中連携等を重点目標に掲げ、取り組みを進めている。

## 2、取り組みの実際

### 染め出し・歯みがき指導

生徒会衛生委員会が中心となり、年2回染め出し・歯みがき指導を行う

\*養護教諭が歯科衛生士の免許を有するため専門的な指導ができる

セールスポイント

養護教諭＝歯科衛生士

3～5人ずつの少人数に分け、昼休みに保健室にて指導



準備 (衛生委員)

染め出し剤をかんだら



自分の目で確認



先生のチェック



歯みがきタイム



個人カード記入



個別指導

### 健康教室(歯肉炎予防教室)

パソコンを使って「歯肉炎予防教室」を開催。原因や予防法を学び、歯みがきの大切さを学習する。またセルフチェックシートを用い、自分の歯肉の状態を診断させる。このセルフチェックシートは歯科検診時に使用、歯科校医の検査結果と自分の診断に相違がないか確認できその場で校医から指導、助言を受けることができる。「日頃の自分の歯みがきで大丈夫なんだ！」という自信にもつながる。

健康教室の様子



パソコンでの学習は歯肉の状態などリアルに視覚に訴えることができる



チェックシートに記入